

市制施行 120 周年 鳥取市は新たな時代へ

「平成の大合併」から 5 周年

問い合わせ先 市役所本庁舎総務課 ☎ (0857) 20-3102

鳥取市 120 年の略年表

明治 22 (1889) 年	鳥取市の市制施行 (10 月 1 日)
明治 40 (1907) 年	仁風閣の竣工、皇太子殿下下行啓
明治 41 (1908) 年	山陰鉄道鳥取停車場 (駅) 落成
大正元 (1912) 年	千代川の氾濫による洪水にたびたび
～大正 12 (1923) 年	悩まされる
大正 12 (1923) 年	富桑村合併
昭和 6 (1931) 年	新千代川通水
昭和 7 (1932) 年	稲葉村合併
昭和 8 (1933) 年	中ノ郷村、美保村合併
昭和 9 (1934) 年	新袋川通水
昭和 12 (1937) 年	賀露村合併
昭和 18 (1943) 年	鳥取大震災
昭和 24 (1949) 年	鳥取大学開学
昭和 27 (1952) 年	鳥取大火
昭和 28 (1953) 年	「昭和の大合併」で 15 村が合併
昭和 30 (1955) 年	米里村合併
昭和 38 (1963) 年	津ノ井村合併 鳥取三洋電機 (株) 誘致
昭和 40 (1965) 年	鳥取しゃんしゃん祭開始
昭和 42 (1967) 年	鳥取空港開港
昭和 53 (1978) 年	鳥取駅高架化
昭和 60 (1985) 年	千代川河口付け替え、鳥取港整備 第 40 回国民体育大会「わかとり国体」開催
平成元 (1989) 年	市制施行 100 周年 鳥取・世界おもちゃ博覧会開催
平成 6 (1994) 年	智頭急行開業
平成 10 (1998) 年	津ノ井ニュータウン完成
平成 13 (2001) 年	鳥取環境大学開学
平成 16 (2004) 年	「平成の大合併」で 8 町村が合併
平成 21 (2009) 年	2009 鳥取・因幡の祭典、世界砂像フェスティバル開催

鳥取市制施行 120 周年・合併 5 周年記念式典

鳥取市の新たな出発を祝う記念式典を開催します。お誘い合わせのうえご来場ください。

と き 10 月 3 日 (土) 13:00 ~ (12:15 開場)

と ころ 市民会館大ホール (掛出町 12)

内 容 ▶ 市政功労者の表彰
▶ 名誉市民の発表
▶ 市民憲章の制定 など

※ 入場無料、事前申し込み不要です。

※ 駐車場に限りがあるため、公共交通機関などをご利用ください。

鳥取市文化まつりをあわせて開催!

式典に引き続き、市内各地で活躍する団体の郷土芸能や音楽などを発表します。

と き 10 月 3 日 (土) 14:30 ~

と ころ 市民会館大ホール

本市は、明治 22 (1889) 年、全国で 36 番目に市制を施行しました。さまざまな災害や戦争など、激動の時代を経て、現在では山陰随一の都市に発展しました。

この 120 年の歴史を振り返るとともに、3 人の名誉市民が新たに決まりましたので、その業績を紹介します (敬称略)。



ふるた さだ
古田 貞

明治 2 年 7 月 28 日生
大正 11 年 10 月 18 日没

明治 33 年に、本市掛出町の自宅を開放して「裁縫塾」を開設。その後「鳥取裁縫女学校」と改組し、女子教育によって女性の社会的な地位確立の礎を築きました。

現在では「鳥取敬愛高等学校」として、地域の高等教育に貢献しています。



おかの ていいち
岡野 貞一

明治 11 年 2 月 16 日生
昭和 16 年 12 月 29 日没

因幡高等小学校 (現久松小) 時代から教会で賛美歌を歌い、音楽に親しんでいました。同郷の師が校長を務める東京音楽学校 (現東京藝術大学) に入學し、卒業後は同校の教授をしながら、「故郷」^{ふるさと}「紅葉」^{もみぢ}「春が来た」など、多くの名曲を作曲し、今でも老若男女に歌い継がれています。



とやま せいいち
遠山 正瑛

明治 39 年 12 月 14 日生
平成 16 年 2 月 27 日没

京都帝国大学 (現京都大学) 農学部を卒業。昭和 21 年に鳥取大学農学部教授に就任し、退官まで一貫して砂地農業の研究を続けました。退官後は、中国内蒙古自治区の沙漠緑化に力を注ぎました。中国のみならず日本でも高く評価され、日本から現地へ沙漠緑化に参加する道を開きました。

はばた いま 翔こう 一人ひとりが輝く参画社会へ

問い合わせ先 男女共同参画課（福祉文化会館内）☎（0857）20-3166

内閣府「男女のライフスタイルに関する意識調査」(平成21年)から

図1 各分野の「指導的地位」に占める女性の割合（10年前との比較）

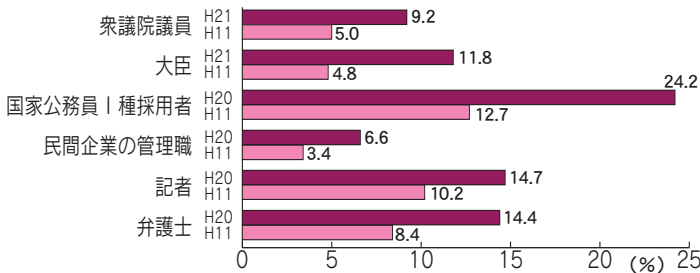
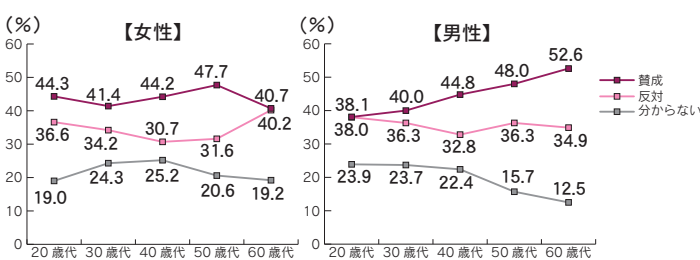


図2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について（性別・年代別）



第17回女と男とのハーモニーフェスタ

とき 10月3日（土）10:00～15:45

ところ とりぎん文化会館

●ステージイベント（小ホール）12:30～15:30（12:00開場）

※先着500人

▷オープニング（鳥取男声合唱団）

▷男女共同参画標語表彰

▷ステージ発表

▷講演「男女ともに輝く人生を」

講師：東海林のり子さん

（キャスター・リポーター）



東海林のり子さん

●ワークショップ（フリースペース）10:00～13:45

▷展示、即売、喫茶、行政相談 ※展示のみ15:45まで

●環境ワークショップ（展示室）10:00～15:45

▷マイバッグコンテスト表彰、展示

問い合わせ先 男女共同参画センター（福祉文化会館内）☎（0857）24-2704

男女共同参画講演会

とき 10月24日（土）14:00～16:00

ところ 河原町総合支所第2庁舎3階第4会議室

●トーク&ライブ

「すてきにパートナーシップ～友だちのように横並びで歩きたい～」

講師：市場尚文さん（小児科医）、いちばけいこ（カウンセラー）

問い合わせ先 鳥取市南部地域男女共同参画啓発イベント実行委員会（河原町総合支所市民福祉課内）☎（0858）76-3113

「男女共同参画基本法」が制定されてから10年、また、本市で「男女共同参画都市とっとり宣言」が行われてから5年が経過します。先ごろ公開された男女共同参画白書をもとに、男女共同参画の状況について見てみましょう。

男女共同参画とっとり宣言

平成16年10月7日に、男女共同参画都市とっとり宣言が

行われました。宣言の中では、①自分らしく②みんなが大切③ともに生きる④支え合う⑤参画社会という5つのキーワードに基づき、男女共同参画社会の進展をめざしています。今年5月、平成21年度版男女共同参画白書が公開されました。その中で、本年2月に内閣府が実施した「男女のライフスタイルに関する調査」

白書が示唆するもの

の内容が紹介され、現在の状況が浮き彫りになっています。まず、各分野の「指導的地位」に占める女性の割合の調査（図1）では、「2020年に30%」と国が定めた目標には達していないものの、それぞれの分野で女性の比率が高まっていることがわかります。また、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成するかどうかを尋ねた設問（図2）では、

男性は若い年代ほど「賛成」の割合が減っています。また、女性では年代による大きな違いが見られず、おおむね「賛成」が「反対」を上回っています。これらにより、男女共同参画社会が緩やかではありますが、着実に進展してきていることが分かります。本市では、今後さまざまな機会を通じて、男女共同参画の進展を図っていきます。